

# アンケートは出しましたか？

## きっぱりと「反対」と答えて出そう！

★ ★ ★ ★

### ◎村のと真ん中にごみ焼却場が建っても良いですか？

観光客が求める“自然景観”と“澄んだ空気”が台無しです。  
観光客が減り、観光事業に打撃です。(観光客へのアンケートで明白です)

### ◎広域連合もついに認めました!! (名鉄の質問書に対する昨年12月の回答)

#### 1 有害ガスの排出が増えることを

白馬の空気が現在より汚れます。白馬では、有害ガスが野焼きの煙のように地表に漂います。子供のぜんそくやアトピーなどが心配です。

#### 2 ごみの中に重金属が含まれていることを

微量だと言っていますが、重金属は微量でも健康や農作物に影響します。カドミウム、水銀、亜鉛など。粒子状物質や多くの化学物質も問題です。

### ◎活断層から50mの「飯森地区」は安全ですか？

平川扇状地、土砂堆積地、液状化が起こりやすい、枝分かれした活断層の可能性あり。  
専門家は、強固な地盤とは言えず、避けるべき場所と指摘しています。

### ◎借金を払い終えたらすぐ建て換えるのは経済的ですか？

山麓センターは、平成22年まで借金が残っています。やっと払い終えたらまた借金？  
村の財政は借金まみれです(現在80~90億円)。

### ◎知らされていない費用が隠されています

#### 1 山麓センターの撤去費？億円(5億円程度か)は、白馬・小谷の負担。

広域連合は、白馬・小谷が判断することで、広域連合は関与していないと明言しています。

#### 2 大町が余分に負担するとしていた3億7千万円は期待できません。

大町市長は、大町市議会で見直すと明言しています。

#### 3 莫大な基礎工事費を見込んでいません。

深い岩盤と軟弱な堆積層、活断層直近→莫大な基礎工事費(?億円)が予想されますが.....

### ◎グリーンスポーツの森は「公園」ではないって？

「公園」と認めれば「飯森地区」は候補地から除外されたのですが.....  
広域連合は、「都市公園」ではないとして公園と認めませんでした。

# 皆さんの判断がこの村の未来をきめます！

# グリーンスポーツの森は れっきとした公園です

新シリーズ **村民の声** vol.11

重松 真さん (グリーンスポーツの森をこよなく愛する村民人)

## グリーンスポーツの森の今

私は年間 60 日、グリーンスポーツの森を利用する者です。雪解けの春から晩秋までテニスコートを週 2 回、また時折仲間と芝生の上で、太極拳を楽しみます。また、7 月・8 月の夏休み期間中は、ネイチャークラフト教室で振興公社の手伝いをさせてもらっています。そうした者の目で見たグリーンスポーツの森の現状は、まさに白馬村における唯一無二の公園と呼べるものです。

これほど村民や旅行者に愛される公園は白馬村にはここだけだと思います。新ごみ処理施設の建設候補地は平川を挟んで目と鼻の先の距離です。年間を通して、マレットゴルフを楽しむお年寄りやテニスに興じる若者から老人まで、幅広い層の人々が絶えません。時々、村内の幼稚園児や小学生の団体の利用もみかけます。夏休みには、村内はもちろん、観光に訪れた家族連れで賑わいます。自転車広場、トランポリン、ジャングルジム、いかだ乗り、魚のつかみ取り、竹とんぼ作り、籐籠作り、ペンダント作り、クラフト教室、おやき作りと多彩なプログラムで皆さんを迎えています。

おそらくこの期間の入場者は 3 万人にも及ぶのではないでしょう。特筆すべきは、観光客の家族連れの方々のかなりの人がリピーターであることです。ペンションや民宿、ホテルで紹介されたと言って訪ねてみえます。私が担当するネイチャークラフトでも、土日ともなると一日 80 組近くの家族連れのお客さんが集い、H20 年の夏休み期間中には 1700 人に及ぶファミリーが自然工作を愉しんでいるのです。このようなところが他にありますか。

これを公園と言わずなんと言うのでしょうか。白馬にはこのような、ファミリーが安心して、ゆっくりのんびり出来る憩いの空間は、ここにしか無いのです。グリーンスポーツの森は、貴重な公園エリアであることを、何度でも強調したいのです。

## 広域連合は「公園と認めない」の 一点ばり

2 度にわたる説明会でも、8 月に提出した飯森 (名鉄) 地区の名鉄の住民の質問状に対する 12 月 25 日に手もとに届いた回答書でも、グリーンスポーツの森を除外対象の公園とは認めていません。12 月 25 日の回答書を紹介します。

『2 次選定での「公園」を削除した理由は、ご覧いただけ

ばお分かりだと思いますが、1 次選定項目に「自然公園地域」を除外項目としており、2 次選定では重複した項目となるため除外したものです。ただし、グリーンスポーツの森は、国立公園・国定公園・県立公園・都市公園には該当しないため、回避施設とはしませんでした。』これだけです。

『付近 300m 以内に学校・病院・住宅群・または公園がないこと』という、広域連合が選定に際して準拠した建設省の「計画標準案」でうたっているにも関わらずです。上述したように、グリーンスポーツの森は、れっきとした「公園」であるのにも関わらず、ひたすら「計画標準案」を盾に、回避施設には該当しないと答えるのみです。このような説明にはとうてい納得できません。

この回答には人間の心を感じません。現地や実態をまったく考慮しない見解としか言いようがありません。「これから平地観光が重要だ」という村の姿勢とは逆行していませんか。もう一度考え直して欲しいものです。

## 「始めに飯森ありき」で始まった 密室選定作業

皆さんご存知のように、今回の選定作業はまったくの密室で行われました。広域議会の議員にすら知らされず、議員ですら新聞発表で知ったという異常さです。なぜ、こんなことになったのでしょうか。市民が参加するとまとまる話もまとまらなくなるから、というのが理由らしいのですが、まったく市民を馬鹿にしたものです。なぜそこまでして密室で進めなければならなかったのでしょうか。

私の学生時代の友人で東京・大阪・埼玉・福岡で県会議員・市会議員 (いずれも保守系無所属) をやっている 5 人に、広域連合とごみ連協のそれぞれのホームページを見てもらった上で感想を聞きました。5 人とも異口同音に二つの問題点を指摘してきました。一つは「大北地方の自治体の意思決定システムが世の中から大きく遅れていること」と、もう一つは「よほど大きな裏の事情が働いている」でした。

いずれにしても、私たち市民にとって悲しいことです。このまま、行政の言いなりで事が運ぶことは許せません。明確に『NO』と言う必要があります。新しく造るにせよ、延期するにせよ、大町と白馬・小谷で別々に考えるにしろ、市民が参加した場で論議していくことが重要なことです。主張すべきは主張し、その中で譲るべきは譲り、よりよい地域社会の建設にまい進することが求められています。

**そのための第一歩は、この重要な問題をうやむやにせず、  
広域連合が画策するアンケートに『反対』を突きつけることです。**



白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会ニュース

発行：白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会 (会長：宮田温巴)  
白馬村北城八方口5897-1 (たきみや) <事務局> TEL: 0261-72-2527 FAX: 0261-72-7937

皆様の一層のご支援をお願いいたします!

カンパ振込先 ●八十二銀行白馬支店/普通口座:137464  
名義:ハクバゴミモンダイカンパ ●ゆうちょ銀行/口座記号番号  
00520-2-83674/名義:白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会